



岡野 一男 議員

**質問** 期日前投票制度の更なる充実を求める

**答弁** 市民の利便性と投票率向上のために検討していく

岡野議員の質問動画



**議員**

期日前投票所を増設したが、効果はあったか。

**総務部長**

投票者の約6%が移動期日前投票所を利用したので効果はあった。

**議員**

期日前投票所は投票率の向上に寄与したか。

**総務課長**

7月の参議院議員通常選挙において投票者の約46%が期日前投票所を利用したので、少なからず寄与している。

**議員**

移動期日前投票所を利用した有権者の反応は。

**総務課長**

カスミきぬの里店、ホームジョイ本田石下店を利用した方からは非常に便利という声がある。

**議員**

期日前投票制度ができてからの投票率の推移はどうか。

**総務課長**

投票率は全国的に低下しているが、近年低下傾向は緩やかになってきている。

**議員**

平成15年にこの制度ができたが、市民の利便性、投票率向上のために投票所をさらに増やす考えはあるか。

**総務部長**

年々期日前投票所の重要性は増してきている。投票環境の向上に向けて検討していく。

**議員**

この制度の拡充の障害となるものは何か。

**総務課長**

投票立会人の人員確保が困難、さらにはネットワークの構築に多額の費用がかかるのが課題。

**議員**

民主主義は時間とお金がかかるが将来への投資である。今後インターネットを利用した投票を導入する考えはあるか。

**総務課長**

課題が多く、法律でも認められていないが、今後の動向を注視して機会があれば導入したい。

**議員**

今後の投票制度の在り方としてぜひ検討してほしい。



草間 典夫 議員

**質問** 休日の部活動指導、地域で…「中学校部活動」の大きな転換点

**答弁** 生徒の健全育成を最優先に、変わりなく部活動に親しむ機会を確保していく

草間議員の質問動画



**議員**

市内中学校の部活動の現状（クラブチーム含む）として、入部体制や加入状況を伺う。

**教育部長**

全中学校が任意入部制である。加入状況は、全中学生1千571人のうち、運動部所属は1千25人で65・2%、文化部所属は375人で23・9%、クラブチーム所属は113人で7・2%である。

**議員**

部活動指導を学校単位の運営から地域単位の活動へ切り替えることで、これまで学校教育の延長としての部活動ということで進路指導や生徒指導全般にわたって行ってきた生徒一人ひとりを生かす、大切にすることについて、教員の理解や反応などはどうか。

**指導課長**

地域の部活動指導者と学校の指導者間での指導方針の違いや生徒の安全、健康管理、生徒指導面への対応などの不安が挙げられている。一方、専門性のある高い指導を受けられる、活動部員の数が確保しやすい、また部活動指導に対

する負担軽減などについて期待する意見もある。

**議員**

地域移行の「改革集中期間」内にまとめる推進計画についての市としての考え方を伺う。

**教育部長**

生徒の健全育成を最優先にした計画を策定していくことが重要と考える。また、生徒の自主的、主体的な参加により、変わりなく部活動に親しむ機会を確保する。そして、この地域移行にふさわしい人材（指導者）の確保、環境づくりをスポーツ、文化、芸術団体等との意見交換を行いながら、地域ぐるみで次世代を担う子どもたちを育てていけるようにする。

**議員**

部活動が学外に出ることによって活動の機会均等を損なっていないと考える。これまで部活動を通して積み上げてきた学校の活力や一体感等の充実していた時間も受け止めながら、2025年度末までの地域移行に向けたよりよい形、環境と、生徒の居場所のある活動を確保できるよう期待する。

用語

【部活動指導の地域移行】

公立中学校の運動部、文化部における休日の部活動指導を地域や民間の団体など学校外に委ねる。2023年度から2025年度の3年間「改革集中期間」で達成するという目標で、各自治体が具体的な取り組みやスケジュールを定めた推進計画を策定する。